

国際反戦デー港合同学習会

国際反戦デーとは、一九六六年一〇月二十一日に日本労働組合総評議会（総評）が「ベトナム反戦統一スト」を実施し、それと同時に全世界の反戦運動団体にもベトナム戦争反対を呼びかけたことに由来します。

港合同もストライキをもって集会・デモに積極的に参加し、以降、学習会が中心となっていますが「6・23反安保」と並び重要な場として毎年欠かす事無く取り組んできました。

今、米中貿易戦争が

「危険水域に入った（日経）」という情勢の下で、安倍政権は改憲発議を今秋臨時国会に提出すると宣言しています。

しかし、そのために自民党総裁選の圧勝を目論みましたが、文字通り地方の反乱によって選挙には勝ちましたが圧勝とは程遠いものとなりました。さらに沖縄県知事選挙での、玉城デニー氏の歴史的な勝利に見られるように、基地建設の強行に対する沖縄県民の怒りが、安倍政権に大打撃を与えています。

何よりも、労働組合です。この間の関西生コン支部への弾圧に見られるように、改憲・戦争に突き進む安倍政権にとって、多くの怒りの声が労働組合の闘いと結びつき、政権打倒に向かうことを死ぬほど恐れています。

労働組合破壊の権力弾圧を許さない闘いと改憲・戦争阻止の闘いは一つです。港合同として年末一時金闘争に向かう時だからこそ、情勢を見極め、戦争・改憲阻止、安倍政権打倒へ、港合同の団結強

化、組織拡大に向けた重要な学習会と位置付けています。

各支部・分会組合員の皆さん、全力で結集し、共に学び、団結して闘っていきましょう。

日時：

10月22日(月) 18:00～

場所：

田中機械ホール

講師：

永嶋 靖久弁護士(大阪労働者弁護団)

港合同組合員は全員参加

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！